

令和8年度 民族共生象徴空間 札幌市内におけるPR業務仕様書

1 業務目的

本業務は、外国人観光客を含む多くの来場者が予想される、令和9年2月4日（木）から2月11日（木・祝）に開催される「2027さっぽろ雪まつり」期間中に、札幌市内を主として、民族共生象徴空間（以下「ウポポイ」という。）及びアイヌ文化の多様な魅力を効果的に発信し、ウポポイの認知度及び来場意欲向上を図ることを目的とする。

2 参考業務規模

15,000千円（税込み）

3 履行期間

契約締結の日から令和9年3月31日（水）まで

4 履行場所

札幌市内を主とした任意の場所（場所確保に係る所要の経費を本委託契約金額に含む）

5 「2027さっぽろ雪まつり」の概要

会 期：令和9年2月4日（木）～2月11日（木・祝）

会 場：大通会場（札幌市中央区大通西1丁目～西11丁目）

つどいむ会場（札幌市東区栄町885-1）

すすきの会場（札幌市中央区南4条～南6条西3・4丁目）

主 催：さっぽろ雪まつり実行委員会

6 業務内容

業務内容は、以下のとおりとする。

(1) ウポポイPRスペースの企画・制作及び運営

ア ウポポイの認知度及び来場意欲向上を図るため、札幌市内の雪まつり会場又はその近隣において、ウポポイ及びアイヌ文化の多様な魅力を効果的に発信するプレハブ等のスペース（以下「PRスペース」という。）を企画・制作すること。なお、札幌市近郊におけるPR、周遊企画等を組み合わせることを可とする。

イ PRスペースの内容やデザインについては、発注者との協議・協力の上で制作すること。

ウ PRスペースはアイヌ民族に関する予備知識がない来場者に対して、アイヌの伝統文化をわかりやすく紹介できるよう、特に外観においては、アイヌ文化とかかわりのあるモチーフを活かした親しみやすいデザインでの装飾を施すこと。

エ 来場者がPRスペースへの来場を契機に、ウポポイへの来訪意欲を喚起する内容とすること。

オ PRスペース内において、アイヌ文化に関連したグッズ等を販売するスペースを設けること。なお、販売するグッズについては、国立アイヌ民族博物館で取り扱っている商品を中心に、その他の商品を提案することも可とする。

カ 会期中のPRスペースの管理・運営を行うこと。PRスペースには原則、①ウポポイ及びアイヌ文化の説明の対応が可能なスタッフ、②グッズ販売に従事するスタッフ、③外国人（英語）対応可能なスタッフを配置すること。特に①は発注者と協議・協力の上で対応すること。

キ 会期中のPR効果の測定や今後のウポポイにおける誘客施策の検討に活用するため、PRスペース来場者数のカウント（5,000名程度を目標）やアンケート（500名程度を目標）を実施するとともに、実施状況の写真撮影等を行い、後日効果測定結果を含む報告書をまとめること。なお、アンケートの回答率を高めるため、参考業務規模の範囲内でウポポイのノベルティを活用する他、その他のノベルティを提案することも可とする。

ク 新聞・インターネット広告等によりウポポイ及びPRブース等についての事前の広報を行うこと。

（２）その他（自由提案）

上記（１）のほかにウポポイの認知度及び来場意欲向上につながる、より効果的と思われる企画がある場合は、参考業務規模の範囲内で提案することも可とする。なお、他のコンテンツや近隣の観光施設とのタイアップについては積極的に検討すること。

7 成果品

- （１）本業務の実施状況等内容を記載した実績報告書を提出すること。
- （２）報告書については、電子媒体及び紙媒体各１部を提出するものとする。

8 その他必要な事項

上記のほか、ウポポイの誘客促進のために必要な事項については、発注者と協議の上、実施する。

9 その他

- （１）本業務に必要な基礎資料等については貸与する。なお、貸与資料は発注者の承諾なしに公表し、又は無断複製してはならない。
- （２）受注者は、業務の実施期間中、随時発注者の要請に応じて業務の進捗状況等を報告する。報告事項は、事前に発注者と協議する。
- （３）本業務を実施するにあたり、全体の進捗状況を把握し、各部門のスタッフと連携できる運営責任者を置く。発注者との調整は運営責任者を通じて行うこととする。
- （４）本業務の実施にあたり、受注者において対外的に公表する必要が生じた事案が発生した場合は、速やかに発注者に報告及び相談すること。